

## 平成17年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率(九州)

- 平成17年の耕地利用率は、前年に比べて0.5ポイント低下 -

## 【調査結果の概要】

- 九州地域における平成17年の農作物作付(栽培)延べ面積は59万8,300haで、前年に比べて6,700ha(1.1%)減少しました。  
作物別には、稲、麦類及びかんしょが増加したものの、それ以外の作物については減少しました。
- 耕地利用率(耕地面積に対する作付延べ面積の割合)は104.3%で、前年に比べて0.5ポイント低下しました。  
なお、本地利用率(本地面積に対する作付延べ面積の割合)は、111.1%となりました。

第1表 平成17年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

区 分	作付(栽培)面積	前年との比較	
		対 差	対 比
作付(栽培)延べ面積	598 300	6 700	98.9
稲	202 400	400	100.2
麦類	55 100	100	100.2
かんしょ	18 400	1 000	105.7
雑穀類	2 260	80	96.6
豆類	24 100	1 600	93.8
野菜	77 700	800	99.0
果樹	47 300	1 000	97.9
農作物	37 400	1 400	96.4
肥料	119 900	3 100	97.5
その他	13 700	300	97.9
耕 地 面 積	573 600	3 500	99.4
耕 地 利 用 率	104.3	0.5	-
本 地 利 用 率	111.1	0.5	-

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【[http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht\\_all.html](http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html)】

この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】P6に記載しています。

**【解 説】**

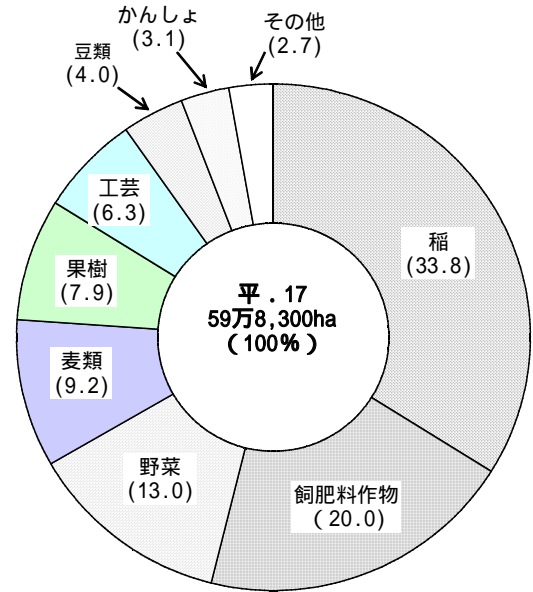
1 田畑計

(1) 平成17年の農作物作付（栽培）延べ面積は59万8,300haで、前年に比べて6,700ha（1.1%）減少しました。

これを作物別に前年と比較すると、かんしょが1,000ha（5.7%）、稲が400ha（0.2%）増加したものの、飼肥料作物は3,100ha（2.5%）、豆類は1,600ha（6.2%）、工芸農作物は1,400ha（3.6%）、果樹は1,000ha（2.1%）、それぞれ減少しました。

作物別の面積割合をみると、稲が33.8%で最も高く、次いで飼肥料作物が20.0%、野菜が13.0%、麦類が9.2%、果樹が7.9%及び工芸農作物が6.3%の順となっています。

図 1 作物別作付延べ面積の割合



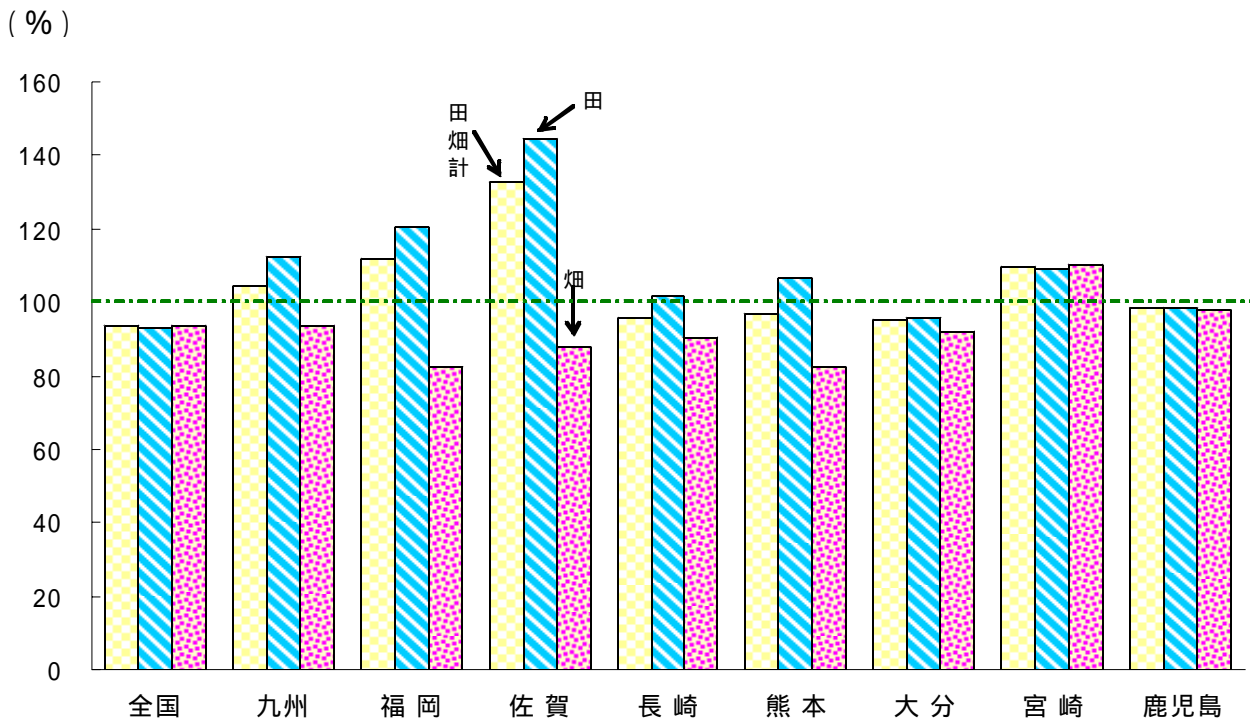
(2) 耕地利用率は104.3%で、前年に比べて0.5ポイント低下しました。

これは、飼肥料作物の作付面積が畜産飼養戸数の減少等により減少したことに加え、豆類、工芸農作物の作付面積が減少したためです。

県別にみると、福岡、佐賀及び宮崎において100%を上回っています。

なお、田畑計の本地利用率は111.1%で、前年に比べて0.5ポイント低下しました。

図 2 県別の耕地利用率



## 2 田

(1) 田の作付延べ面積は37万1,500haで、前年に比べて4,100ha(1.1%)減少しました。

これを作物別に前年と比較すると、他作物からの転換等により稲が500ha(0.2%)、麦作の推進で麦が200ha(0.4%)それぞれ増加しました。

一方、飼肥料作物は稲への転換や、飼養頭数の減少及び不作付により2,900ha(5.6%)、豆類は前年産の作柄不良による農家意欲の減等で1,400ha(6.0%)、工芸農作物は市場価格の低迷等により330ha(6.2%)それぞれ減少しました。

(2) 田の耕地利用率は112.2%で、前年に比べて0.6ポイント低下しました。

なお、田の本地利用率は119.5%で、前年に比べて0.8ポイント低下しました。

## 3 畑

(1) 畑の作付延べ面積は22万6,800haで、前年に比べて2,600ha(1.1%)減少しました。

これを主な作物別に前年と比較すると、かんしょが焼酎ブ-ムにより原料用作付が800ha(4.9%)増加したものの、果樹は管理不良園の廃園等により1,000ha(2.1%)、工芸農作物は生産者の労働力不足等により1,000ha(3.0%)、野菜は600ha(1.3%)それぞれ減少しました。

(2) 畑の耕地利用率は93.5%で、前年に比べて0.4ポイント低下しました。

なお、畑の本地利用率は99.6%で、前年に比べて0.3ポイント低下しました。

第2表 田畑別作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

単位 { 面積 : ha  
対比・利用率 : %

区 分	田			畑		
	平・17	前年との比較		平・17	前年との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比
作付(栽培)延べ面積	371 500	4 100	98.9	226 800	2 600	98.9
稻	202 100	500	100.2	321	40	88.9
麦	53 900	200	100.4	1 230	70	94.6
かんしょ	1 170	120	111.4	17 200	800	104.9
雑穀	1 400	10	99.3	866	62	93.3
豆類	22 000	1 400	94.0	2 090	180	92.1
野菜	30 900	300	99.0	46 700	600	98.7
果樹	-	-	-	47 300	1 000	97.9
工芸農作物	4 960	330	93.8	32 500	1 000	97.0
飼肥料作物	49 000	2 900	94.4	71 000	100	99.9
その他作物	6 080	40	100.7	7 610	370	95.4
耕地面積	331 100	1 800	99.5	242 500	1 800	99.3
耕地利用率	112.2	0.6	-	93.5	0.4	-
本地利用率	119.5	0.8	-	99.6	0.3	-

統計表

平成17年農作物作付(栽培)延べ面積

区分		平成17年農作物作付(栽培)延べ面積当年値									
		作付(栽培)延べ面積	稲	麦類	かんしょ	雑穀	豆類	野菜	果樹	工芸農作物	飼肥料作物
田	九州	598 300	202 400	55 100	18 400	2 260	24 100	77 700	47 300	37 400	119 900
	福岡	100 600	41 600	19 900	210	87	7 880	11 200	8 230	1 750	5 740
	佐賀	74 400	29 500	21 500	121	30	7 490	5 880	5 590	1 480	2 180
	長崎	49 100	14 700	1 990	584	204	846	11 400	5 840	1 900	10 800
	熊本	116 700	42 700	6 700	1 250	453	3 370	15 700	13 600	5 470	24 900
	大分	57 400	26 200	4 730	306	237	3 270	5 990	5 250	1 210	9 300
	宮崎	76 900	21 900	76	2 430	368	608	11 100	3 630	3 830	32 000
	鹿児島	123 200	25 900	203	13 500	884	644	16 500	5 140	21 800	35 100
畑	九州	371 500	202 100	53 900	1 170	1 400	22 000	30 900	-	4 960	49 000
	福岡	84 000	41 600	19 900	38	85	7 750	6 780	-	71	4 920
	佐賀	64 200	29 500	21 400	13	24	7 270	4 290	-	39	1 130
	長崎	24 500	14 700	1 390	32	103	525	2 760	-	199	4 370
	熊本	77 100	42 600	6 400	87	283	2 860	9 550	-	3 390	10 600
	大分	40 500	26 200	4 660	40	173	2 860	1 940	-	141	4 040
	宮崎	41 500	21 800	48	452	246	425	4 050	-	671	13 600
	鹿児島	39 600	25 600	120	504	483	324	1 570	-	443	10 300
畑	九州	226 800	321	1 230	17 200	866	2 090	46 700	47 300	32 500	71 000
	福岡	16 600	-	28	172	2	128	4 380	8 230	1 680	817
	佐賀	10 200	-	131	108	6	220	1 590	5 590	1 440	1 050
	長崎	24 600	8	599	552	101	321	8 610	5 840	1 700	6 420
	熊本	39 600	62	293	1 160	170	509	6 170	13 600	2 080	14 300
	大分	16 800	1	70	266	64	411	4 050	5 250	1 070	5 270
	宮崎	35 400	13	28	1 980	122	183	7 010	3 630	3 160	18 400
	鹿児島	83 600	237	83	13 000	401	320	14 900	5 140	21 300	24 700

及び耕地利用率

単位 { 面積：ha  
利用率：%

			前 年 差												
その他 作物	耕地 利用率	本地 利用率	作付(栽培)延べ 面積	稲	麦 類	かん しょ	雑 穀	豆 類	野 菜	果 樹	工 芸 作物	飼肥料 作物	その他 作物	耕地 利用率	本地 利用率
13 700	104.3	111.1	6 700	400	100	1 000	80	1 600	800	1 000	1 400	3 100	300	0.5	0.5
3 980	111.9	117.5	800	500	400	15	0	350	200	140	10	190	70	0.0	0.1
706	132.9	139.6	400	200	100	1	4	410	170	150	20	20	12	0.3	0.0
881	95.7	104.0	100	200	40	60	1	112	200	100	60	300	23	0.2	0.6
2 580	96.9	104.5	1 800	400	40	20	9	150	300	200	260	1 300	30	1.0	0.9
860	95.0	102.5	1 800	0	160	9	9	370	310	260	380	440	36	1.9	1.9
1 040	109.5	115.1	600	200	17	170	7	92	100	90	150	400	30	0.6	0.7
3 650	98.2	104.4	1 200	100	45	900	62	64	300	80	500	900	470	0.5	0.5
6 080	112.2	119.5	4 100	500	200	120	10	1 400	300	-	330	2 900	40	0.6	0.8
2 850	120.3	126.3	700	500	400	1	0	350	140	-	14	190	60	0.2	0.3
589	144.3	150.7	100	200	100	0	4	380	210	-	10	10	16	0.1	0.1
396	101.7	109.4	300	200	20	5	5	113	50	-	10	180	17	2.1	1.4
1 350	106.6	113.5	1 200	400	40	2	15	110	60	-	200	1 200	40	1.3	1.5
483	96.0	104.4	800	0	150	8	2	320	150	-	31	190	18	1.2	1.5
235	108.9	116.9	400	100	6	90	16	60	10	-	44	500	8	0.8	0.5
181	98.5	106.2	1 300	200	30	35	0	37	50	-	31	1 100	19	2.7	2.9
7 610	93.5	99.6	2 600	40	70	800	62	180	600	1 000	1 000	100	370	0.4	0.3
1 130	82.6	86.9	200	-	0	14	0	4	60	140	0	4	10	0.2	0.1
117	87.9	95.3	300	-	3	1	0	23	30	150	10	0	4	1.8	1.0
485	90.4	99.2	300	1	27	65	4	1	220	100	50	140	6	1.1	0.4
1 230	82.3	90.2	700	7	7	20	24	39	230	200	60	200	70	0.6	0.8
377	92.3	97.7	1 100	7	12	1	11	54	150	260	350	240	18	3.9	4.0
800	110.3	113.5	200	1	11	80	9	32	180	90	110	100	24	0.6	0.2
3 470	98.0	103.5	100	24	15	900	62	27	300	80	500	100	450	0.5	0.5

## 【調査の仕様】

1 この資料における数値は、農作物の土地利用の状況を表すものとして、作付延べ面積（作物別の作付（栽培）面積の合計）及び耕地（本地）利用率を「耕地及び作付面積調査」の結果から算出したものです。

2 耕地（本地）利用率は、次の方法によって算出しました。

$$\text{耕地（本地）利用率（\%）} = \frac{\text{作付（栽培）延べ面積}}{\text{耕地（本地）面積（7月15日現在）}} \times 100$$

なお、本地とは、直接農作物の栽培に供せられる土地で、耕地から「けい畔」を除いた土地をいいます。

3 作物別区分は、次のとおりです。

- (1) 稲は、水陸稲の子実用です。また、水稻のうち「畑地かんがい水稻」は畑作として計上しました。
- (2) 麦類は、6麦（小麦、二条大麦、六条大麦、裸麦、えん麦及びらい麦）であり、子実用のみです。
- (3) 雑穀及び豆類は、乾燥子実用（未成熟との兼用を含む）です。
- (4) 野菜には、上記の雑穀（とうもろこし）及び豆類（えんどう、そらまめ、大豆、いんげん等）の未成熟用を含みます。また、ばれいしょは野菜に計上しました。
- (5) 飼肥料作物は、稲、麦類、雑穀、豆類等の青刈り用を含みます。
- (6) その他作物は、桑、花き、花木、種苗、芝等であり、麦類その他用（農作物の保護用、生花用等）を含みます。

4 統計表の見方等

(1) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の値が一致しない場合があります。

原 数		7桁以上	6桁	5桁	4桁	3桁以下
ラウンドする桁(下から0の数)		3桁(000)	2桁(00)		1桁(0)	ラウンドしない
例	計算数値(ラウンド前)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	計算数値(ラウンド後)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

(2) 表中の記号は、以下のとおりです。

「0」……………単位に満たないもの      「-」……………事実のないもの

「 」……………減少したもの

### 【掲載内容に関するお問い合わせ先】

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 (内線4753)

直通電話： 096 - 353 - 7574

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 (内線4723)